

令和2年度事業者防災訓練 訓練課題対応資料

1. 令和2年度訓練における確認された課題を下記のカテゴリーに分類し、それぞれに対する原因分析、対策案を表-1に示す。

(カテゴリー分類)

- (1) 通報連絡
 - 1-1) 通報連絡書の作成
 - 1-2) 通報連絡書の訂正
 - 1-3) 通報 FAX の着信確認
- (2) 情報共有
 - 2-1) 情報の整理
 - 2-2) 災害対策資料
- (3) プレス対応

また、令和2年度訓練における確認された課題のうち、内部レベルアップ事項を下記のカテゴリーに分類し、それぞれに対する原因分析、対策案を表-2に示す。

(カテゴリー分類)

- (1) 通報連絡
 - 通報連絡書の作成
- (2) 情報共有
 - 2-1) 情報共有
 - 2-2) 災害対策資料
 - 2-3) 情報の伝達
- (3) 日本原燃(株)との連携

2. 情報フローについての自己評価

緊急時対策所の情報フローのうち、ERC プラント班への FAX 送信後の着信確認に問題点があった。上記「1. (1) 1-3) 通報 FAX の着信確認」で問題点の改善に取り組むとともに、緊急時対策所の情報フローを見直すこととする。

令和2年度訓練課題

分類	項目	① あるべき姿、②問題点／課題、③原因、④対策	パンチリスト番号
(1) 通報連絡	1-1) 通報連絡書の作成	① あるべき姿；通報連絡書の送付管理番号は、「警戒事態」と「特定事象」で分けて記載する。	1
		② 問題点／課題；通報連絡書の送付管理番号が「警戒事態」発生以降、通し番号を記載した。	
	③ 原因；「警戒事態」発生後の FAX 送付先と「特定事象」発生後の FAX 送付先の違いを考慮していなかった。		
		④ 対策；通報連絡書の送付管理番号は、「警戒事態」と「特定事象」で分けて管理することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。	
		① あるべき姿；通報連絡書は、受信者が施設の状態を把握するために必要な情報を記載する。	6
		② 問題点／課題；通報連絡書において、施設の状態が分かるような情報、公設消防への通報時刻の情報、気象情報が不足していた。	7
		③ 原因；通報連絡書に記載すべき情報が整理されていなかった。	9
		④ 対策；通報連絡書に記載すべき情報を整理し、教育、要素訓練で効果を確認する。	
	1-2) 通報連絡書の訂正	① あるべき姿；特定事象の発生時刻の訂正は、同報で訂正版を作成し FAX 送信する。その後、ERC 対応者が ERC プラント班へ訂正連絡を行う。	1
		② 問題点／課題；特定事象発生通報（第4報）の発生時刻に誤記があったが、その訂正を応急措置の概要（第6報）で行った。また、訂正理由等の説明がなかった。	2
		③ 原因；通報連絡書を訂正する場合の措置が明確になっていなかった。	3
		④ 対策；通報連絡書を訂正するときは同報で訂正版を作成し FAX 送信すること、FAX 送信後に訂正理由を説明することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。	

	1-3) 通報 FAX の着 信確認	<p>① あるべき姿;ERC プラント班への FAX 着信確認をタイムリーに行う。</p> <p>② 問題点/課題;ERC プラント班への FAX 着信確認は ERC 対応者が行う運用としていたが、ERC プラント班への説明に追われ、FAX 送信後の着信確認ができなかった。</p> <p>③ 原因;ERC 対応者の業務量への配慮が不足した。</p> <p>④ 対策;ERC プラント班への FAX 着信確認は、連絡調整班が行い、FAX 着信確認後はホワイトボード等に時系列に記録し管理することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	4 23
(2) 情報共有	2-1) 情報の整理	<p>① あるべき姿;特定事象の発生を時系列に記載するときは、特定事象の発生時刻 (EAL 基準到達時刻)、判断時刻を明確にする。</p> <p>② 問題点/課題;時系列に記載した特定事象発生の報告時刻を判断時刻と見誤り、特定事象発生通報 (第 4 報) の発生時刻に誤記が発生した。</p> <p>③ 原因;時系列に「特定事象発生」を記載する際のルールが明確でなかった。</p> <p>④ 対策;時系列に「特定事象発生」を記載するときは、特定事象の発生時刻及び判断時刻を下線や囲み線等で識別して記載することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	2

	2-2) 災害 対策資料	<p>① あるべき姿；見やすさを考慮した適確な放射線モニタ値のトレンドグラフを作成する。また、トレンドグラフは進展予測に活用する。</p> <p>② 問題点／課題；放射線モニタ値のトレンドグラフの情報量が不足していた。また、トレンドグラフを進展予測に活用できなかった。</p> <p>③ 原因；トレンドグラフに必要な情報の検討が不足した。また、進展予測に用いる「戦略シート」にトレンドグラフを添付することが明確でなかった。</p> <p>④ 対策；放射線モニタ値のトレンドグラフ作成時は、見やすさを考慮した適確な放射線モニタ値のトレンドグラフを作成すること、「戦略シート」にはトレンドグラフを添付することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	5 20 21
(3) プレス 対応	プレス対 応	<p>① あるべき姿；記者会見は、住民の安全を考慮した丁寧な説明を行う。</p> <p>② 問題点／課題；記者会見で住民の安全に主眼を置いた分かりやすい丁寧な説明が不足した。オフサイトセンターの関与について言及できなかった。</p> <p>③ 原因；記者会見における説明方法が明確でなかった。また、想定 QA 資料の準備が不足した。</p> <p>④ 対策；記者会見対応の手順を明確化するとともに想定 QA 資料を準備し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	10 11

令和2年度訓練課題（内部レベルアップ事項）

分類	項目	① あるべき姿、②問題点／課題、③原因、④対策	パンフレット番号
(1) 通報連絡	通報連絡書の作成	<p>① あるべき姿；警戒事態該当事象の発生時刻が明確である。</p> <p>② 問題点／課題；通報連絡書の警戒事態該当事象の発生時刻欄に記載すべき時刻を原子力防災管理者が判断した時刻（13:12）としていたため、地震発生時刻（13:10）の誤りではないかと疑義が生じた。</p> <p>③ 原因；自然災害による警戒事態該当事象の発生時刻が他社と異なる場合、通報連絡の受信者に誤解を招くことに思い至らなかった。</p> <p>④ 対策；地震発生や大津波警報が発表された場合、警戒事態該当事象の発生時刻欄に原子力防災管理者が判断した時刻を記載するか、或いは、地震発生時刻（又は気象庁発表時刻）を記載するか検討した後、後者の場合は原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	9 13
(2) 情報共有	2-1) 情報共有	<p>① あるべき姿；原子力防災管理者の指示・発話は、緊急時対策所内の要員に漏れなく伝わる。</p> <p>② 問題点／課題；原子力防災管理者の指示が緊急時対策所全体に伝わっているか分からない場面があった。</p> <p>③ 原因；緊急時対策所に各班の要員が参集した後、原子力防災管理者が指示を出しているが各班の要員からのレスポンスがなかった。</p> <p>④ 対策；原子力防災管理者の指示・発話時は、チャイム等により緊急時対策所内に静粛化を促すことを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	15 17
		<p>① あるべき姿；中性子線量の測定結果及びγ線量と中性子線量の合算値の評価結果を時系列に記録し緊急時対策所内で情報共有できる。</p> <p>② 問題点／課題；モニタリングポスト（MP-2）がγ線量1μSv/hを超えたため、中性子線量を測定し、その測定結果（ND）とγ線量の合算値で評価したが、その評価結果が時系列に記録できなかった。</p>	19

		<p>③ 原因；時系列に必要な情報はメモ等で確実に伝達するルールがなかった。</p> <p>④ 対策；時系列に必要な情報はメモ等で確実に伝達することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	
	2-2) 災害対策資料	<p>① あるべき姿；通報連絡書に添付する排気ダストモニタの構成図、排気系統図は、受信者の見やすさを考慮した詳細な図面を用いる。</p> <p>② 問題点／課題；通報連絡書に添付した排気ダストモニタの構成図、排気系統図は、詳細な図面でなかった。</p> <p>③ 原因；受信者の視点で図面を準備していなかった。</p> <p>④ 対策；排気ダストモニタの構成図、排気系統図は詳細な図面を準備することを原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	9 27
	2-3) 情報の伝達	<p>① あるべき姿；「発生事象整理シート」の運用方法を明確化する。</p> <p>② 問題点／課題；「発生事象整理シート」の送付管理番号が通報連絡書の送付管理番号と関係性があると誤解を招いた。また、「発生事象整理シート」（第4報）のFAX送信時刻に記載漏れがあった。</p> <p>③ 原因；「発生事象整理シート」は、通報連絡書とは別に作成した資料であることを明記していなかった。また、「発生事象整理シート」にFAX送信時刻を明記することを要領に定めていなかった。</p> <p>④ 対策；「発生事象整理シート」の運用方法を原子力防災組織活動要領に明記し、教育、要素訓練で効果を確認する。</p>	1 28
(3) 日本原燃(株)との連携	日本原燃(株)との連携	<p>① あるべき姿；隣接する日本原燃(株)再処理工場との情報共有及び支援協力要請の状況をERCプラント班へ説明できる。</p> <p>② 問題点／課題；事象発生時に日本原燃(株)再処理工場との情報共有及び支援協力要請の状況をERCプラント班へ説明できなかった。</p> <p>③ 原因；事象発生時に日本原燃(株)再処理工場との情報共有の在り方及び同社から支援協力を受けることが可能な措置を具体的に整理していなかった。</p>	社内 評価

		④ 対策；事象発生に備えて日本原燃(株)再処理工場との情報共有の在り方及び同社との取決書にもとづき支援協力を受けることが可能な措置を具体的に整理する。	
--	--	---	--